VINX

Zabbix運用する方必見！

～バージョン1.8の運用から始まる統合監視実現への道～

株式会社ヴィンクス

アウトソーシング事業本部
ITサービス2部

1-1. 自己紹介

山脇　拓馬

- 株式会社ヴィンクス
  - ・アウトソーシング事業本部 ITサービス2部 第2課
  - ・2012年に入社

- 主な業務内容
  - ・仮想基盤環境（VMware）の運用
  - ・運用自動化ツールの構築・運用

- 2014年に監視業務に従事した時にZabbixの利用を始めました
  - ・現在はZabbixサーバも稼働する仮想基盤環境のインフラ運用や
    Zabbix監視も含めた、監視業務の自動化の構築・運用に携わりながらZabbixを利用しています

1-2. 会社概要

社　　名	株式会社ヴィンクス　VINX　CORP. (略称名：VINX)
設　　立	1991年 2月20日
資 本 金	5億9,603万円
代　　表	代表取締役 社長執行役員　　渋谷 正樹
売 上 高	371億1,053万円（2024年12月期）
従 業 員	1,586名(連結) 1,283名(単体)(2024年12月末)
事業内容	流通小売業に特化した総合情報サービス企業

オフィス	
本社	大阪市北区
東京オフィス	東京都墨田区
幕張オフィス	千葉市美浜区
京橋オフィス	大阪市中央区
名古屋オフィス	名古屋市中区
松山オフィス	愛媛県松山市
データセンター	大阪市北区

●グループ会社(国内)●

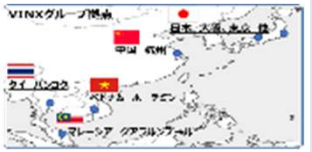
株式会社4U Applications
＜POSソフトウエア開発、コンサルティング＞
本社　東京都墨田区

株式会社エリア
＜小売業向けシステム構築、コンサルティング＞
本社　東京都豊島区

株式会社Ui2
＜ECサイト構築＞
本社　東京都港区

株式会社ホロン
＜流通業向けシステム構築、コンサルティング、ECサイト構築＞
本社　愛知県名古屋市

●グループ会社(海外)●



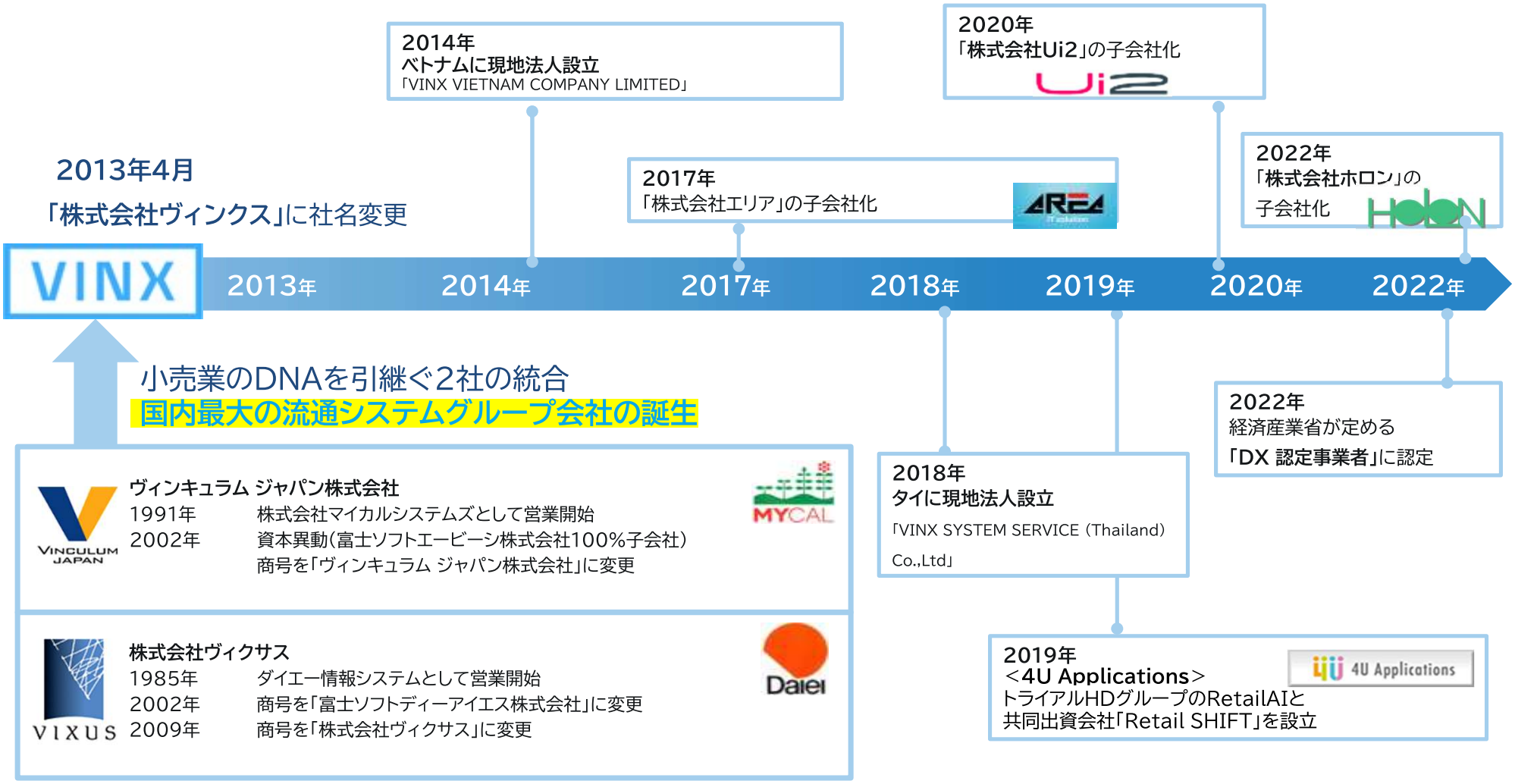
維傑思科技(杭州)有限公司
Head office　中国浙江省杭州市
データセンター　中国上海市

VINX VIETNAM COMPANY LIMITED
Head office　Ho Chi Minh City, Vietnam

VINX MALAYSIA Sdn. Bhd.
Head office　Kuala Lumpur, Malaysia
データセンター　Kuala Lumpur, Malaysia

VINX SYSTEM SERVICE (Thailand) Co.,Ltd.
Head office　Bangkok, Thailand

1-3. 会社沿革



1-4. 弊社の特長（概要）

01 柔軟に

特定のハードウェアや業態に
依存しない柔軟なシステム

✓ M&Aやシステム統合時もハードウェアをそのまま使用できる
✓ クラウドベースで構築されたシステムなので拡張が容易

ANY-CUBE.Net
SoftWare CAT
MDware 自動発注クラウド
Hybrid Satisfa
AP-Vision/Cloud

02 最新の

DXを推進するための
流通小売業向けプラットフォーム

AI販売数予測ソリューション
MDware ウィンクスが提供する自動発注システム
SENSY SENSYが提供するパーソナル人工知能

✓ 様々な業務に対応したDXソリューションを持っている
✓ AIなどの最新技術を使ったシステムによって、
業務改革に貢献できる

03 トータルに

流通小売業に必要なサービスを
一貫して提供

✓ システム導入・展開・保守・運用監視・ヘルプデスクなど、
日本全土およびASEANでの支援が可能

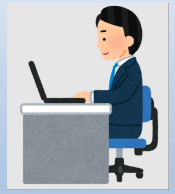
導入展開
システム運用監視
統合ヘルプデスク
流通小売業IT人材
海外展開

2-1. 運用監視部門の紹介

お客様

監視依頼

サービスデスク



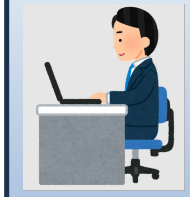
・監視要件ヒアリング
・パラメータシート作成
・監視設定
・Zabbix Proxy構築

オペレーター

監視
（24h/365d）

ZABBIX

サーバ構築担当



・Zabbixサーバ設計
・Zabbixサーバ構築
・運用担当への引継ぎ

他、利用している監視ツール

JP1

Systemwalker

Netvisor

2-2. Zabbix利用の経緯

2010年、当時利用していた監視4システムが全てHW保守切れを迎え、新しい監視の仕組みの検討が始まった。

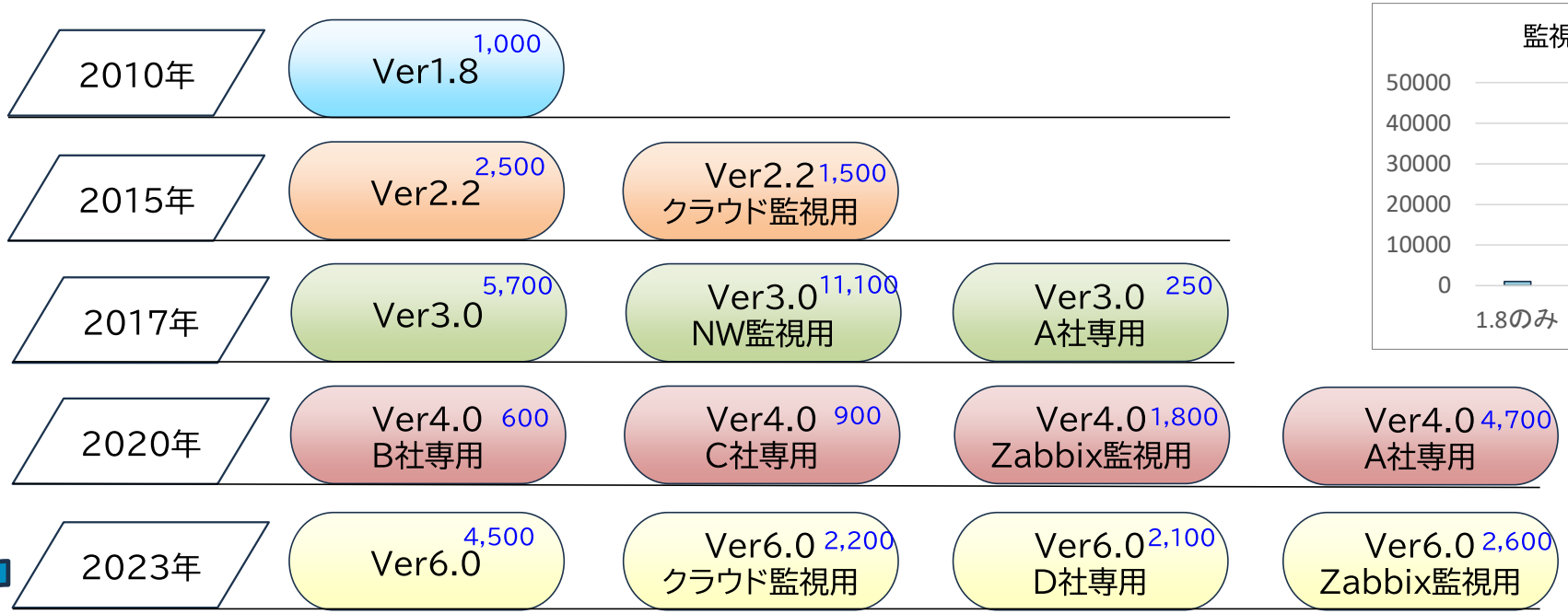
	ZABBIX	製品A	製品B
1. 運用面	○	△	△−
2. セキュリティ面	○	×	○
3. 可用性	次フェーズにて検証		
4. 監視機能面	○	△	○
総評	○	△−	△+

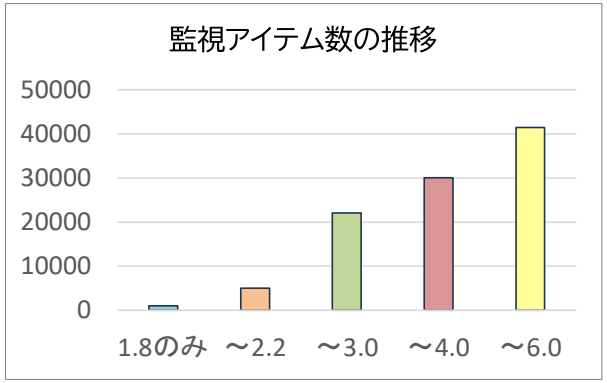
【検討結果】

運用面、セキュリティ面、可用性面、監視機能面でいくつかの製品比較を行った結果、すべての項目で高評価となった ZABBIX を採用し、監視システムを全面移行することが決まった。

2-3. Zabbix監視運用の歩み

ヴィンクスは新バージョンのZabbixサーバを新規構築し、監視設定を移行することでバージョンアップを実施。
用途に応じて専用Zabbixサーバも構築することで複数のZabbixサーバを並行運用しております。





7.0以降の運用フェーズに向けて検討開始

2-4. Zabbix監視運用の歩み

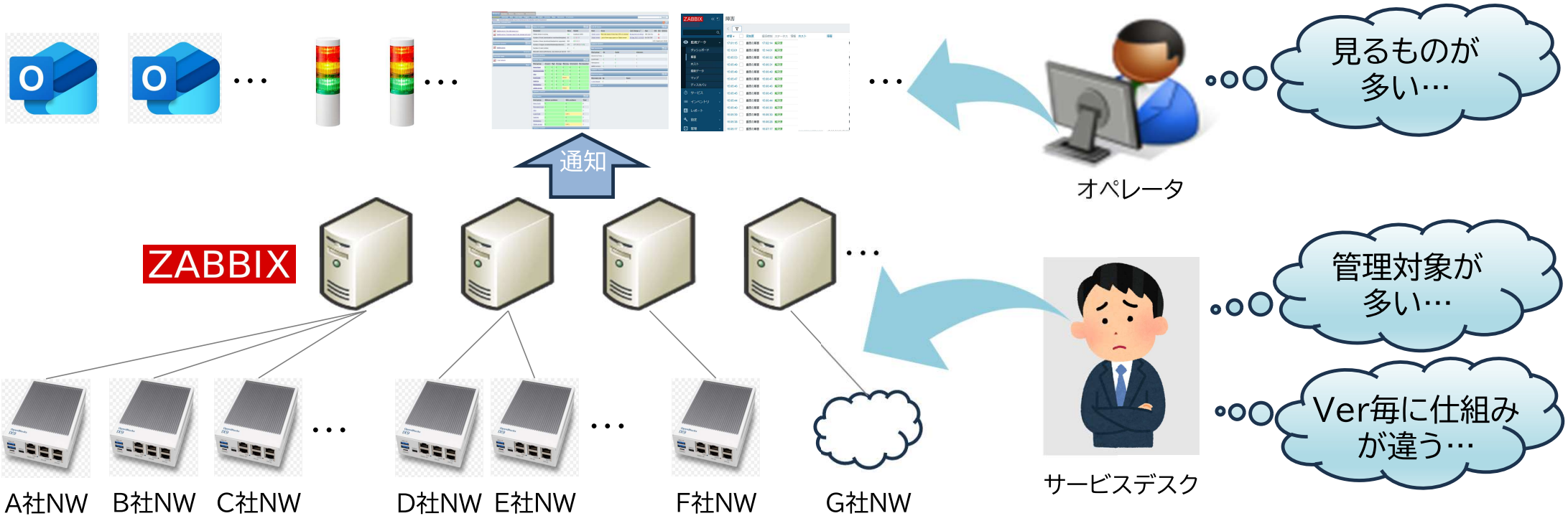
バージョンアップ対応で監視
移行の調整が進まない

新しいバージョンの検証
が必要

Zabbixサーバが
どんどん増えてくる

昨年、Ver7.0LTSがリリースされました。
皆さんもバージョンアップ対応はスムーズに行われていますか？
バージョンアップ以外にも運用の現場で困っていることがありませんか？

2-5. 運用監視の現場



今回のテーマ

統合監視を実現するZabbixが、運用の問題によって統合監視を実現できていない。
⇒ヴィンクスのバージョンアップ方法と共に、統合監視を実現する運用方法をお伝えします。

2-6. 運用監視部門が抱える課題

課題1

Ver2.2⇒6.0への
バージョンアップ対応

課題2

監視環境の分散

課題3

サービスデスクの
属人化

統合監視(監視環境の統一化)を妨げる課題たち

課題4

監視設定の
不整合

課題5

大量アラートによる
監視ダウン

3-1. 課題1 Ver2.2⇒6.0へのバージョンアップ対応 –課題と解決策-

課題1

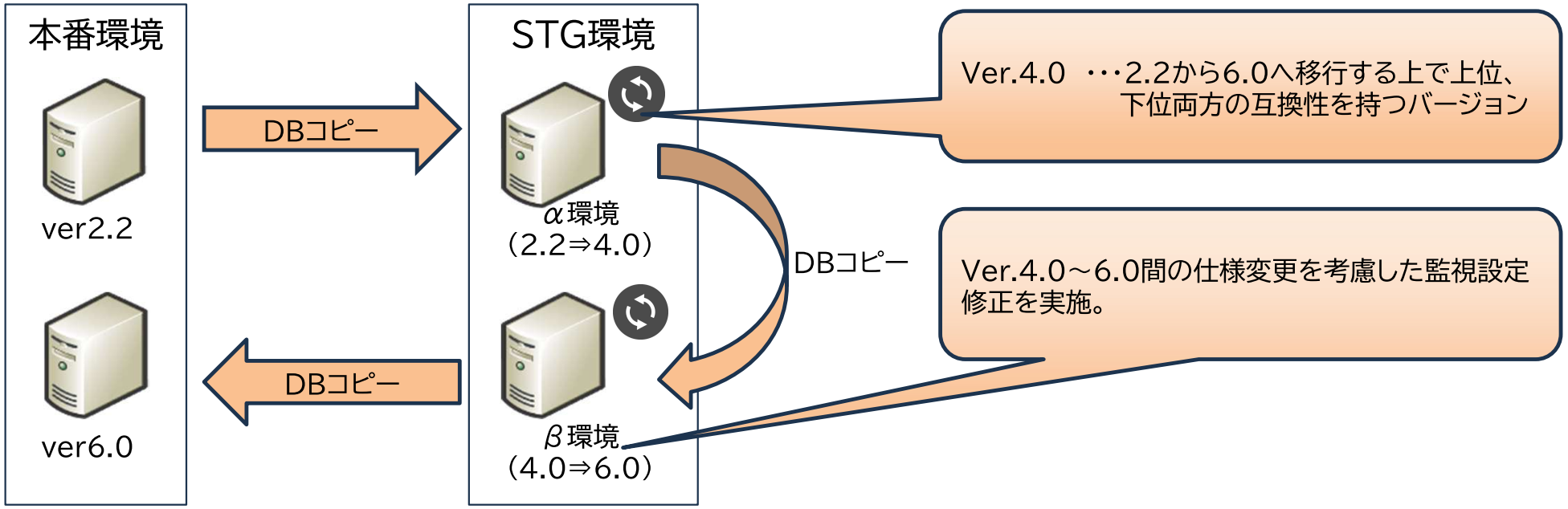
Ver2.2⇒6.0への
バージョンアップ対応

概要

2.2⇒6.0へ監視移行する際に“値のマッピング”が移行できずエラーとなる

解決策

2.2と6.0、両方に互換性がある4.0を経由したステージング環境を構築。

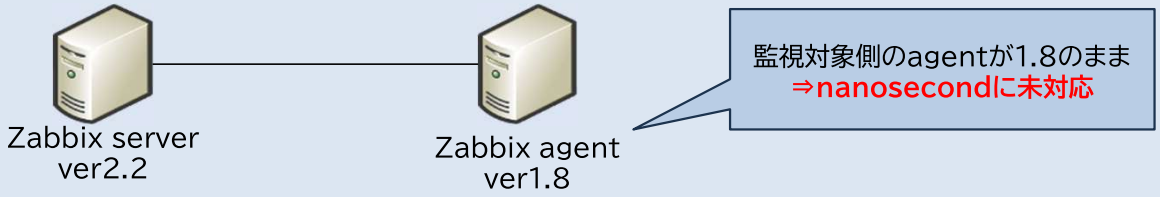


3-1. 課題1 Ver2.2⇒6.0へのバージョンアップ対応 –課題と解決策-

バージョンアップ時は監視設定の見直しが重要！

①agent 1.8正規表現未対応によるログ監視漏れ
監視設定を1.8から2.2へ移行時、ログ監視の一部設定がZabbix2.2の正規表現へ自動的に変更になった。
しかし監視対象のagentが1.8で、下位互換がなかったため、正規表現として扱われず、検知ができなかった。
eventlog[application,,"Warning|Error",^MpJobsch$]
（対応後）eventlog[application,,"Warning|Error",MpJobsch]

②agent 1.8 nanosecond未サポート
監視をバージョン2.2のZabbixサーバへ移行後、Zabbix-server側とZabbix-Agent側のバージョン違いにより、
ログ監視にて1秒間に複数データ取得した場合、検知漏れが発生した。



③テキストログ監視の文字化け
agentを1.8から2.2へバージョンアップしたことにより、agentのデフォルトencodingが変更され文字化けが発生し、
障害が検知できない事象が発生した。
（対応後）監視対象がwindowsかつ1.8の場合 ⇒ logrt["****","****","SHIFT_JIS"]
（対応後）監視対象がlinuxかつ1.8の場合 ⇒ logrt["****","****","UTF-8"]

3-2. 課題2　監視環境の分散　–課題と解決策-

課題2

監視環境の分散

概要

複数のZabbixが乱立し、画面・パトライトも増加することで監視負荷が増大

解決策

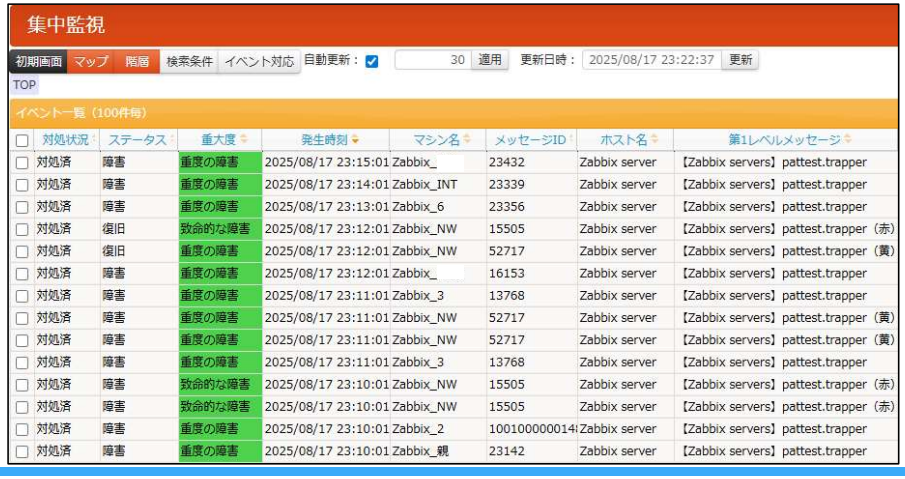
統合監視メールボックス作成
VI-Managerの導入

◆統合監視メールボックス

各Zabbixから要対応のアラートを統合監視用メールボックスへ送付することでアラートを集約。
outlook上でタブを付与し、切り分けを容易化。

◆VI-Manager

各Zabbixから要対応のアラートをVI-Managerへ連携しアラートを集約。
各アラートの対処状況もステータス管理。



3-3. 課題3　サービスデスクの属人化　–課題と解決策-

課題3

サービスデスクの
属人化

概要

長期運用により担当者が
入替わり、設定方法も人に
よって異なる

解決策

監視設定標準化シートの作成
サーバ設計からサービスデス
クも参加（DevOps）

◆監視設定標準化シート

- ホストグループ
- ホスト
- 値のマッピング
- アイテム
- トリガー
- ・・・

記載例

監視項目	命名規則 "監視区分(値種別)：障害内容"	トリガー条件式(障害)の例 障害条件(例)	zabbix2.2	zabbix3.0	zabbix6.0
Ping監視	{$HOSTGROUP}Ping監視　DOWN	3回連続Ping不通	max(#3)=0	max(#3)=0	max(/host/key,

◆構築と運用の一体化（DevOps）

新Verの情報
収集・共有

構築担当とサービス
デスクの定例会

Zabbixサーバの
設計・構築

仕様変更を考慮した
監視設計

新Verのノウハウの
ドキュメント化

新Verの監視検証

3-4. 課題4　監視設定の不整合　–課題と解決策-

課題4

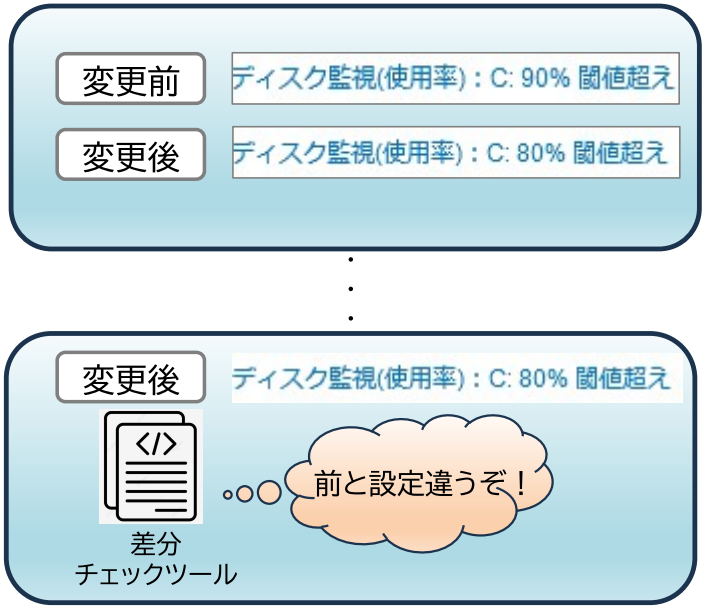
監視設定の不整合

概要

複数のZabbix運用を
少人数で対応しているため、
設定ミスに気づけない

解決策

差分チェックツールによる
自動監視



サービスデスク

16時に戻して
おかないと…

依頼者

あとで申請するから今から16時まで＊＊監視の閾値を変えといて！

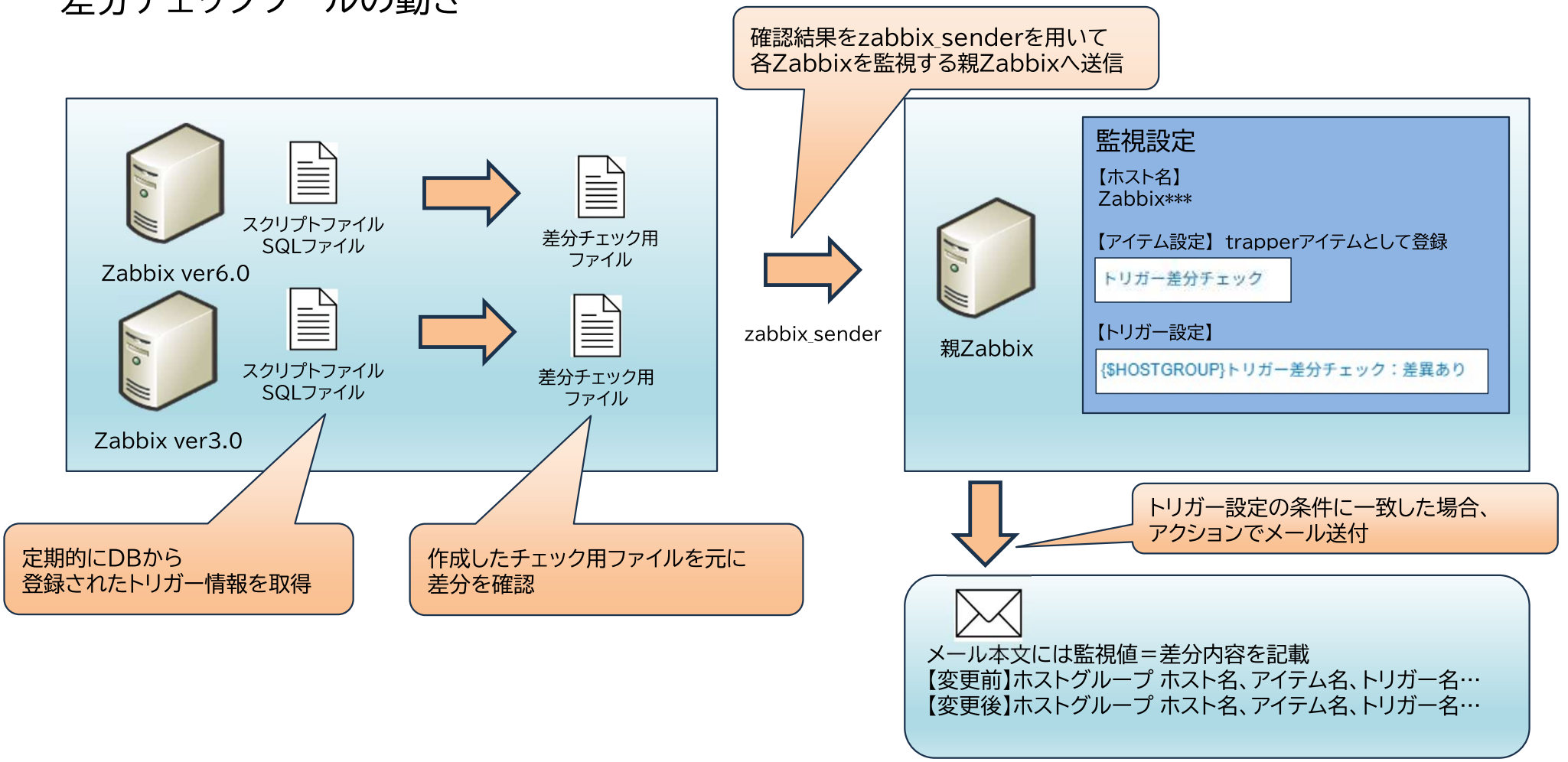
サービスデスクへ
メール通知

サービスデスク

16時過ぎてる
けど忘れてた！
戻しておかないと！

3-4. 課題4 監視設定の不整合 –課題と解決策-

差分チェックツールの動き



3-5. 課題5 大量アラートによる監視ダウン –課題と解決策-

課題5

大量アラートによる
監視ダウン

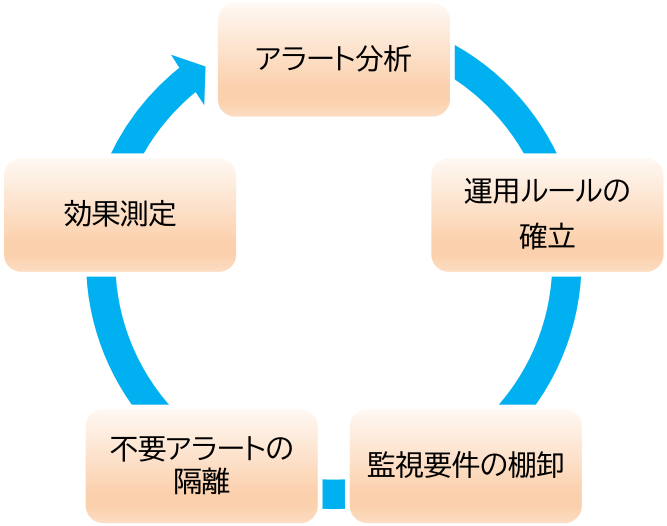
概要

大量アラートが発生すると
通知の遅延や要対応アラート
の見逃しが発生

解決策

監視分析と見直しによる
アラート数の削減
VI-Managerによるアラー
ト表示数の削減

◆アラート数の削減



◆アラート表示数の削減

Zabbixサーバ

アラート連携

VI-Managerの画面

大量アラート発生時

マシン名	メッセージID	ホスト名	第1レベルメッセージ	
Zabbix_6	BURST_END	未定義	イベントの抑制を終了しました。対象メッセージID：30872, 抑制件数：24件	抑制開始：2025/08/04 09:08:18 抑制終了：2025/08/04 09:11:12 定期処理により抑制終了
Zabbix_6	BURST_START	未定義	イベントの抑制を開始します。対象メッセージID：30872	

4. 現在の統合監視環境

監視の集約

アラートの削減

連携

ZABBIX

差分
チェックツール

管理の自動化

バージョンアップ

JP1

監視の
移行

他社監視ツール
監視設定

監視の
標準化

監視設定
標準化シート

オペレータ

監視画面が減って
楽になった！

大量アラート時も
見逃しは減った！

サービスデスク

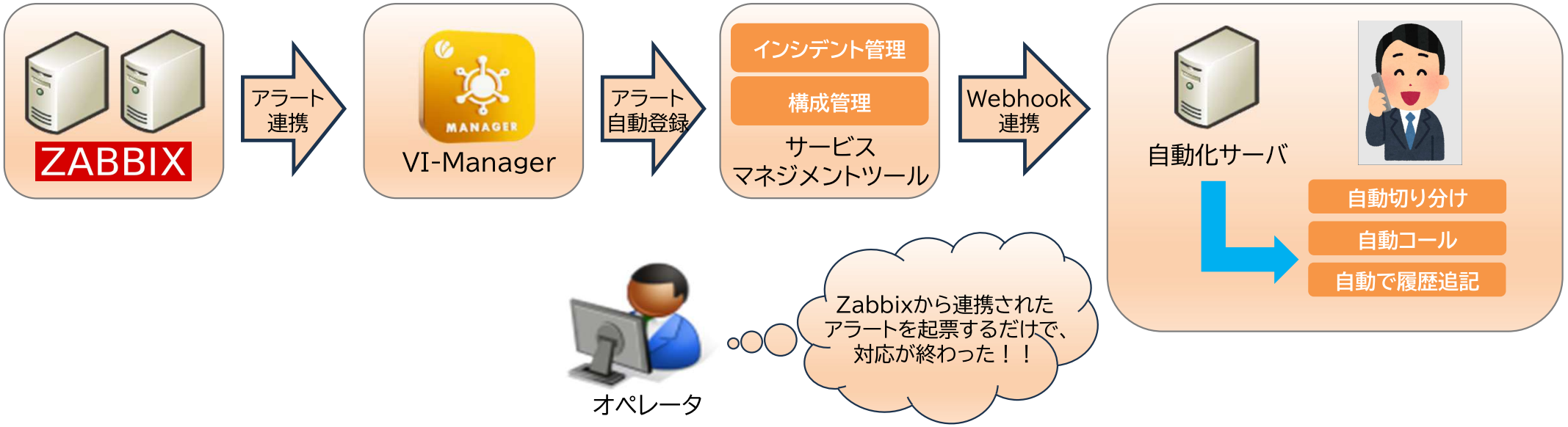
自動のチェックツール
でミスも減った！

Ver毎の設定も
標準化できた！

バージョンアップ対応で旧VerのZabbixを減らしつつ、監視の集約・アラートの削減、監視の標準化、
管理の自動化、更に他社監視ツールから移行の実施を進めたことで統合監視環境を実現化

5. Zabbixを利用した更なる運用監視の提供

Zabbixのアラートを利用したアラート対応の自動化



オペレータはインシデント起票するだけでツールが自動で切り分け、電話、電話履歴の追記まで実施
⇒オペレータの監視作業は削減され、新規の大型監視案件の受入体制の構築も達成！

6. まとめ

ZabbixはサーバーやNW機器などの統合監視を実現してくれる便利な監視ツール。
Zabbix Proxyによりセキュリティを確保しつつ1台のZabbixサーバで
複数の顧客ネットワークを監視することもできる。
しかし、監視の規模が大きくなり、複数のZabbixで監視していく場合、運用の工夫が必要。

運用監視の**集約、標準化、自動化**を行い、
より効率的に統合監視を実現していくことが大事

ご清聴ありがとうございました